

2019 8-9 Live Art + Archive

+night

オルタナティブであり続けたい

blanClass はプレファブリックな建物。屋根も壁もとても薄く、猛暑日は冷房がほとんど効かないくらい暑くなるので、2012年から8月は夏季休業を取るのが恒例だったが、今年の10月は10周年記念とクロージング関係のイベントが中心なので、通常のイベントが9月だけでは取まりきれなくなり、久しぶりに8月も開けることにした。なので、このチラシは8月と9月分、10月分はあらためてということになった。

ちなみに10月最後のイベントは10周年記念イベントではなく、「ステューデントアートマラソン」の予定。このチラシを作成している現在、そろそろ応募のメ切りが迫ってきているが、まだ応募者はちらほら…、でもまあ、ギリギリになってもなかなか埋まらないのは毎度のこと、また今回も土壇場でジタバタするかもしれない。(再告知もあるかもしれませんが、ご興味ある方はwebやSNSをチェックしてください)

なぜラストイベントを「ステューデントアートマラソン」にしたかという、ある意味で最もblanClassらしいイベントだと思ったから。そもそもこのステューデントイベントは、いろいろな教育の場で、なにかしら表現を始めてはみたけれど、自分の所属する専攻とマッチングがあわなかったり、卒業後、社会にすでにある、という専門にも、どんな領域にも、いかなる職場にも、ハマらないような気がする…。そんなステューデントたちが、一度今自分がいる場所から離れて、一息つけるような場をつくりたいという思惑があって始めた企画。

いまあらためて考えてみると、それは「ステューデントアートマラソン」だけのコンセプトというより、blanClass全体の運営理念でもあったと思う。

私は、いつの世も既存のどんなジャンルからもはみ出している表現や発言こそが「アート」なのだ信じているところがあって、意識的にそう主張してきたのだが、どんなジャンルからもはみ出しているというの、端から見るととてもわかりにくい。その上その状態をキープするというのは至難の技、良くも悪くもどこかしらに取まってくるもの。そうすると「アート」だということ自体に矛盾を感じる。



その昔先輩に「お前に立つ瀬なんてねえんだよ」といって捨てられたことがある。オルタナティブでアートな環境で育ってしまった私が、どんなに相反するような価値観にでも一定の共感を示すくせに、いちいち反発する様子を見て放たれた喝だった。その時の私は特別悪いことをしたわけでもなく「抱って立つ処がない」といった方が正解だった気がする。それがトラウマになったということもないけれど、未だどこにいてもアウェー感が拭えない。最近ではホームなはずのblanClassにいてさえ、浮いている気がする。

普通に考えたら、どんな活動でも、活動を進めていくうち、成熟というのか、主流になっていこうと思えばいいのかもしれない。でも私の場合、どうしたってオルタナティブであり続けたいと願ってしまう。それって、確かに抱って立つ処が得られないということ。もうひとつというより、幼い選択なのかもしれない。

それでもどこかに取まることで、いろいろなもの失われてしまうことに納得がいかない。結局は10年を機に思い切ってリセットすることにした。そのリセットは「これでお終い」ではなく、これまで担った役割とは違うなにかの始まりであればと願っている。

小林晴夫



blanClass

ブランクラス Live Art & Archive

〒232-0006 横浜市内南区南太田4-12-16-2F info@blanclass.com

http://blanclass.com Twitter / facebook : blanclass

ディレクター 小林晴夫 安部祥子 野本直輝 スタッフ 村田紗樹 長屋涼香

2019 8

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 山の日
12 振替休日	13	14	15	16	17 大道寺梨乃 op. 17:30 / st. 18:00 ¥2,000 (ワンドリンク付) ・要予約	18
19	20	21	22	23	24 田中功起 op. 18:30 / st. 19:00 ¥2,000 / 学 ¥1,000 (キャッシュバック有 ・ドリンク別)	25
26	27	28	29	30	31 0,1,2人 (外島貴幸+吉田正幸) op. 18:30 / st. 19:00 ¥1,500 (ドリンク別) op. 15:30 / st. 16:00 ¥1,500 (ドリンク別)	9/1

2019 9

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 few phew pur 作戦会議 18:00 実作・練習 19:00 上演 20:00 ¥2,200 (冊子代込) ¥2,000 (冊子持参)	15
16 敬老の日	17	18	19	20	21 吉田和貴 op. 18:30 / st. 19:00 ¥2,000 (ワンドリンク付)	22 ASSEMBLIES 後藤裕子/吉田和貴/村上温部 ほか 13:00-19:00 [13:00-:お昼ご飯 15:00-17:00:コアタイム] 投げ銭制
23 秋分の日	24	25	26	27	28 森田浩彰 op. 18:30 / st. 19:00 ¥1,800 (ワンドリンク付)	29
30						

Rental Space

blanClassのスペースを一般貸出します。映画撮影、CM撮影、スタジオ、作品制作のアトリエ、会議室、セミナールームなどのスペース利用、また表現活動の発表の場として、幅広い用途にご利用いただけます。

* イベントがある日程はサイト内のカレンダーにてご確認ください。
* 長期、定期的な貸出などを希望される場合はご相談ください。



利用可能期間

月曜日→金曜日 10:00→21:00 (完全撤収)

料金プラン	個人・非営利団体	企業・営利団体
1時間	6,000円	20,000円
3時間	18,000円	40,000円
1日	30,000円	60,000円



Live Art

毎週土曜日は、Live Art + 公開インタビュー。ワンナイト完結の、どんなことでもありのアーティストイベント。おいしい軽食（無料）、飲物（有料）をご用意しております。

8.17 [土] パフォーマンス

大道寺梨乃 朝と小さな夜たち

「朝と小さな夜たち」は北イタリアのチェゼーナという小さな街で2019年の5月に発表された小さなパフォーマンスで、その街に暮らす日本人のわたしと、この街で生まれた娘の朝と毎日朝から晩まで彼女のために歌われる、歌についてのお話です。
(パフォーマンスはイタリア語と日本語で行われます)

open 17:30 start 18:00 ¥2,000 (ワンドリンク付)
定員 30名程度 要予約



プロフィール 撮影：小林由美子

大道寺梨乃「朝と小さな夜たち」は予約が必要です。

▶予約方法 以下の内容でイベント前日までにメールにてご予約ください。(メールアドレス) info@blanclass.com
〈件名〉大道寺梨乃「朝と小さな夜たち」予約(本文)1) 8月17日 2) 氏名 3) 郵便番号 4) 住所 5) メールアドレス 6) 参加人数

8.24 [土] 企画会議、ネットワーキング

田中功起 Netflix 向けでもし撮影するときに僕がプランすること

今回は、企画会議とネットワーキングのための場所を作ります。

近年のぼくの制作はどんどん長い映像を作る方向へ向かっています。4、5時間ともなれば、そもそも多くのひとは避けるでしょう。展示会の空間で見せることに、限界も感じます。長期的にはネットフリックスのミニシリーズぐらいあるわけですから、自分の制作方法も、アウトプットも含めて見直す時期にきています。

そこでまずはぼくの最近の制作プロセスについて話し(あいつの新作『抽象・家族』を例にして)、そのあとにいま考えているアイデアをいくつか話してみます。アイデアを話しながら企画会議として、自由にみなさんと意見交換できたらいいですね。せっかくなので、ぼくと仕事してみたいという奇特な方がいればぜひ気楽に来てもらいたいと思っています。映像制作のプロデューサー、制作現場を取り仕切るラインプロデューサー(映像だけでなく、演劇でも)、撮影監督、照明技師など、あるいは問題意識を共有できる社会学者や政治学者、建築家などなど。その場で名刺交換ができたひとは参加費の一部をキャッシュバックします。

open 18:30 start (会議) 19:00 一般 ¥2,000 学生 ¥1,000 (ドリンク別) ※入場料のキャッシュバックあり



〈抽象・家族〉2019 プロダクション・ステル



〈井田田回回田田土〉イメージ2019 撮影：中川周

8.31 [土]・9.1 [日] コント、演劇、パフォーマンス

O,1,2人(外島貴幸+吉田正幸) 井田田回回田田土

階段の登り降りを繰り返す中での、エスカレーターで交差する瞬間のコミュニケーション。下り坂と上り坂の数はどちらが多いのか?あるいは向こう側とこちら側の数を数えること。

8/31 open 18:30 start 19:00 9/1 open 15:30 start 16:00 ¥1,500 (ドリンク別)

9.7 [土] 演劇・参加型

few phew pur (フュー ヒュー ピュー) 高山玲子+前澤秀登 +新美太基+一野 篤 ハイツ高山 - エンドゲーム -

2019年「ハイツ高山」はアトリエ(演習場)としての活動を終え、2022年、半室内農園に改築。そして2032年、建物としての終焉を迎え、取り壊され更地となりました。しかし、今は2019年9月。まだ間に合う...? このまま「ハイツ高山」を終らすわけにはいかない。さあ、「ハイツ高山」エンドゲームの始まりです。

作戦会議 18:00 - 実作・練習 19:00 - 上演 20:00 - (予定) ¥2,000 (冊子持参) ¥2,200 (冊子代込) ※冊子『ハイツ高山』をお持ちの方はご持参ください。



〈ハイツ高山〉写真：前澤秀登

9.14 [土] ★★ SakSak #16 / 上演

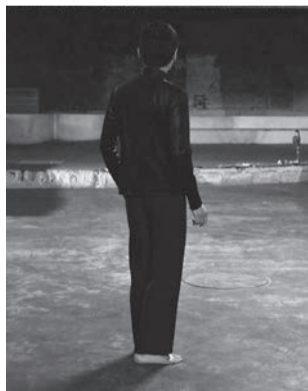
武本拓也 人の前に立つ事を、例えば狩りを手がかりに考えてみる

人の前に人がいる。

その事の中には、事実と同時に事実ではない事も重なっていると思う。それはどっちでもあるし、どっちでもない。なにか別のもののような気がする。俳優と観客との具体的なやり取りを、例えば「狩り」の手つきで考えてみる事はできるのではないか。それは狩人の手つきであるだけでなく、獲物の手つきでもある。俳優は満身の注意で観客の視線をいかくぐり、最後の瞬間で矢を招き入れる。

企画 野本直輝

プレ上演 18:00 - 18:50 上演 start 19:00 ¥1,800 (ワンドリンク付)



〈羽と野ざらし〉2019.4 上演 撮影：三浦雨林(蘭屋)

9.21 [土] レクチャー+ワークショップ

吉田和貴 ゾーンシステム

アメリカのカリフォルニア州出身の写真家アンセルアダムス(1902-1984)。彼が考案したゾーンシステムというフィルムへの「最適な」露出と現像処理を決定するための技法のレクチャーの後に、その技法を使ってブランクラスにあるアーカイブを圧縮するワークショップ。

open 18:30 start 19:00 ¥2,000 (ワンドリンク付)



Live Art

9.22 [日] アッセンブリーズ

ASSEMBLIES (アッセンブリーズ)

ASSEMBLIES (アッセンブリーズ)は、参加者が各々の関心やアイデアを持ち寄る不定期の集まりです。参加するアーティストやキュレーターは、興味のあるトピックや作品、調査資料について、展示、パフォーマンス、対話など参加者自身がふさわしいと思う形式で来場者にプレゼンテーションします。ASSEMBLIESでは発想そのものを汎用に開いていくためのいどぐちとして実践し、対話や協働をとおした意図の転換や外部との連動によって与えられるその新しいファンクションを模索します。

参加 後藤桜子 / 吉田和貴 / 村上滋郎 ほか

13:00 - 19:00 投げ銭制
[13:00 - : お昼ご飯、15:00 - 17:00 : コアタイム]



2018.9.23 ASSEMBLIES (アッセンブリーズ)

9.28 [土] トーク

森田浩彰 先輩に学ぶミドルライフ・クライシス

中年の危機(ミドルライフ・クライシス)という言葉があります。一般的には、体調の変化、親や子供、キャリアの問題等複数の重要事項が重なってくる時期といわれています。我々、アーティストにも展覧会が減る、経済問題等のアーティスト特有の問題も降りかかってきます(僕自身もまさにそのど真ん中にいる)。そこで諸先輩方を招いてどのようにその時期を過ごしてきたのか、その先には何が待っているのかを学んでいきたいと思っています。

※当日、来てくれる諸先輩は現在交渉中です。決まり次第 Web に UP します

open 18:30 start 19:00 ¥1,800 (ワンドリンク付)



〈行方不明の絵〉2015 HDビデオ(16:11) 額装された写真 撮影：椎木静華

ステューデントアートマラソン vol.15 参加者募集!

blanClass 休業前の最後のイベント、ステューデントアートマラソン vol.15 の出演者を募集します。現役学生であれば、専攻も問いませんが、マラソン形式なので、各組10~20分程度の発表時間を考えて、作品や行為のプランを練って、奮ってご応募ください。

応募概要 作品のフォーマットは自由ですが、マラソン形式、各組10分~20分程度の発表形式ということ踏まえてプランを出してください。また必要な機材は基本持ち込み、交通費・制作費は自己負担をお願いします。

本番の日程 2019年10月26日(土) 13:00~20:00(予定) 会場 blanClass 定員 10組

応募〆切 2019年7月21日(日) 必着(7月末日に参加者発表予定)

応募資格 大学、大学院、専門学校などに通う現役学生。専攻は問いません。

応募方法 公式サイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたは郵送にて企画プランを提出、エントリーとします。

選考方法 書類選考はしますが、応募者の人数があまりにも多かったり、物理的、時間的、技術的に不可能な場合は展示、出演できないことがあります。その場合でも応募者全員のプランは公開されます。

blanClass + product

blanClassのウェブストアページのご紹介です。オリジナル、関係しているアーティストのグッズ、書籍、ポスターなどを販売しています。
http://bproduct.thebase.in

+product

DVD | 多田正美 w/ 鈴木理策 [西浦の田楽] オープン価格

音楽家、多田正美の表現に大きな意味を持つ奇祭、「西浦の観音様のお祭り」(静岡県西浦地区)を地続きの文化として交換してみようという企画。2011年10月29日「新・港村」にて、中川敏光、伊藤啓太、柿ハンドルドライブと舞いびとたちとともに制作されたパフォーマンスと「西浦の観音様のお祭り」の映像&多田正美インタビューを収録したDVD。

Sa+ ISSUE # 004 声と芸術生産 ¥500

+ journal シリーズの4号目《Sa+ 声と芸術生産》は、紛争やテロ、難民危機、安全保障関連法案、ヘイトスピーチやそれらに対するカウンターなど、現在の状況に対する「声」をテーマに、批評文、詩、散文、写真、ドローイングなどの様々な形式のテキストや視覚表現で構成されたタブロイド誌。

Va+ ISSUE # 005 勝利と芸術生産 ¥500

+ journal シリーズの5号目《Va+ 勝利と芸術生産》テーマは、2016年のアメリカ大統領選挙、イギリスのEU離脱をめぐる社会状況をふまえ、「勝利」と、逆説としての「敗北」、そして「勝利・敗北」という構造そのものと芸術生産の可能性について。

market by market #12 特集『スカイホーク』(1997年3月発行) ¥1,500

1969年と1995年に原口典之によって制作された2つの「Sky Hawk」を巡り、二つの時代を行き来しながら考察を試みる。blanClass ディレクター小林晴夫若かりし頃、幻のアーティスト・ラン・スペース「market」と共に編集した希少本。

ブランクラス Live Art & Archive

〒232-0006 横浜市南区南太田 4-12-16-2F

アクセス

京浜急行[井土ヶ谷駅]下車。エアポート急行も止まります!

〈品川から約30分〉京急蒲田で下りエアポート急行に乗り換えて井土ヶ谷駅下車。
〈横浜から約11分〉下りエアポート急行で2つ(約8分)、普通で5つ

[井土ヶ谷駅]改札出て正面の信号を渡ってすぐ左折、1つ目の交差点を右折、2つ目の角を左折、三井のリパーク後ろ、blanClassの看板がある細い段々を上がって右の建物2階



blanClass